

令和7年1月 月例記者会見(令和7年1月14日)市長原稿

【市長年頭のあいさつ】

明けましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

市長に就任してから約3年が経過しようとしています。これまでの間、裾野市の魅力を最大限に活用し、住んでみたい、働いてみたいと思われるようなまちの^{いしずえ}礎を築くことに専念してまいりました。

そのような思いから、市役所組織の方向性を明確にするための経営戦略として「市長戦略」を策定しました。「人と企業に選ばれるまち」をビジョンに、「日本一市民目線の市役所」をミッションに掲げ、市役所一丸となり取り組んでまいりました。加えて昨年より新たに「戦略から実動へ」を掲げ、その戦略が実現化しつつあります。

まずは企業誘致についてです。多数の企業に裾野市を選んでいただき、新工場が稼働、商業施設が開店するなど、市民の雇用機会の創出、地域経済の活性化に繋がっています。

続いて、道の駅について、基本構想を策定いたしました。今後、候補地、導入施設、整備手法について検討を進めてまいります。「どこにでもある道の駅」ではなく、「わざわざ行きたくなるような仕掛けづくり」を行い、市民の皆さんにとっても「普段使いできる」ような拠点となるよう考えていきます。

更に、公園事業について、今年の春に駅西公園をオープンいたします。まちなかでも水遊びもできるような親水エリアを設け、芝生広場、日除け付きベンチ、トイレ、自動販売機、駐車場も設置いたします。

そして、せせらぎ児童公園についても、市立水泳場跡地と一体利用をいたします。芝生広場を整備し、今年の夏にオープン予定です。今後は、カフェの併設なども目指していきます。子どもから大人まで快適に過ごせる公園を作りたいと考えています。

最後に、令和3年2月に発令された「財政非常事態宣言」についてです。中長期的な財政見直しをお示しし、令和7年3月までの解除を目指します。解除の際は、新たな方針を策定し、財政健全

化の取り組みを継続します。

本年も「人と企業に選ばれる裾野市」の実現に向けて、数多くの新たな施策を実施します。そのためにも、「日本一市民目線の市役所」を目指した改革を断行し、これからの裾野市の発展のため、より一層、邁進してまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸、新たな時代に向けて大きな飛躍と向上の年になりますことを心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

資料No.1「裾野市運動公園陸上競技場の備品配備及びレーン数に関する要望書の提出について」

※別資料

それでは、資料No.2以降について説明します。

【市長】

資料No.2「裾野市就職相談会の開催について」です。

裾野市就職相談会を3月8日(土)に、市民文化センター多目的ホールで開催します。

本イベントは、若年者の市内就職を促進するとともに、市内企業における人材確保を図ることを目的に、コロナ禍以降初めて開催します。

新卒から中途まで、市内企業・市内関連企業に就職を希望するすべて方にご参加いただけます。現時点で 37 社が参加する予定です。

詳細は、産業観光スポーツ課 鮫島主事から説明します。

【産業観光スポーツ課 鮫島主事】

3月8日(土)に、市民文化センター多目的ホールで開催します。開催時間は10時から15時で、12時から13時は休憩時間です。

企業ブースでの就職相談や出張ハローワーク、しずおかジョブステーションのキャリアカウンセラーによる適性診断を予定しております。現時点で 37 社が参加予定です。参加企業は別紙をご確認ください。

また、新卒から中途まで、市内企業・市内関連企業に就職を希望するすべて方にご参加いただけます。

なお、新卒者や中途などの募集対象者は、企業によって異なります。詳細は市ホームページからご確認ください。

申し込みフォームから、事前申し込みを受け付けております。当日参加も可能ですが、事前にお申し込みいただいた方にはプレゼントを差し上げます。

企業の採用担当者と直接話せるチャンスです！よろしく申し上げます。

【市長】

資料No.3「裾野市定住移住応援団の設立及び運用について」です。

市では、移住希望者からの相談に迅速かつ効果的に対応するため裾野市定住・移住応援団を設立しました。応援団は、移住希望者に「住まい」や「就労」を主とする地域情報を官民連携して提供し、相談を受け入れます。

応援団の登録制度運営要綱に基づき、「住まい」や「就労」の分野の専門的な情報やサービスを提供する民間事業者や団体を募集し、事前に登録することで、官民が協働して当市への定住・移住の促進を図ります。

詳細は、情報発信課ふるさと納税強化対策室 小山主幹から説明します。

【情報発信課ふるさと納税強化対策室 小山主幹】

裾野市定住・移住応援団について説明します。

応援団の構成は、「住まい」に関しては市内宅建協会会員、不動産会社を、「就労」については市内企業、農商工など産業に関わる各種関係団体やその会員を想定しています。

運用は、情報発信課で受けた移住希望者からの相談のうち、「住まい」「就労」については調査票を作成し、応援団に情報提供・照会します。

その後、不動産会社等の案内による物件の現地見学や市内企業等による雇用相談を経て、居住や就労に繋がります。

また、必要に応じて子育てや福祉関係などの相談内容に応じた構成メンバーに繋がります。

【市長】

資料No.4「フードドライブ(食品寄付運動)の実施」についてです。

裾野市では、昨年 8 月に続き、今年度2回目のフードドライブを実施しています。

昨今の物価高騰の影響により、食料が足りず生活にお困りの方が多い状況が続いています。

ぜひ多くの市民の皆様へ、この事業の趣旨をご理解いただき、多くの食品をご寄贈いただきますようお願いいたします。

1月6日(月曜日)から1月31日(金曜日)の平日8時30分から17時15分まで、市役所1階の総合福祉課、福祉保健会館2階の社会福祉協議会に回収ボックスを設置しています。

皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

【市長】

資料No.5「裾野市子ども家庭センターすこっぴ 親子交流スペースの土日祝日の試行開館の実施について」です。

裾野市子ども家庭センター すこっぴ 親子交流スペースは、令和5年3月に開館し3年目を迎えるようとしております。

利用者数は上昇傾向にあり、訪れる利用者からは土曜日や日曜祝日も開館してほしいという声が多く寄せられています。

また、議会からも土日、祝日の開館の要望も承っています。

このため、これらの声にこたえるべく、令和7年度より機能拡充を図るために土日祝日の開館

を行うこととしました。

この土日祝日開館は福祉保健会館における初の試みとなり、限られた人数で来館者対応を行うこととなりますので、正式な開館前に、試行開館を実施することで来館者の導線確保、安全面への配慮、利用者のニーズなど本格実施にむけて、職員配置や対応などの目安をつかむことを目的として試行開館します。

施行日については、今月から各月 1 回開催し、全部で 3 回行います。これに伴いまして、火曜日を臨時休館とさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

市民の皆様の積極的なご利用を、お待ちしております。よろしくお願いいたします。